

事務連絡
令和7年10月31日

都道府県下水道担当課長
政令指定都市下水道担当部長
(上記、各地方整備局等経由)
市町村下水道担当部長・課長
(上記、各都道府県経由)
日本下水道事業団事業調整課長
都市再生機構下水道担当課長

殿

国土交通省水管理・国土保全局
上下水道企画課
管理企画指導室課長補佐
下水道事業課
事業マネジメント推進室課長補佐

下水道セーフティネット N0. 287 について
(令和7年9月分)

1. 維持管理作業事故

令和7年9月は3件（死亡：0件、負傷：3件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べ事故総件数は2件増加しました。

維持管理事故の例として、全国特別重点調査対象区間の内、放流渠の調査をしていたところ、高低差約4mの伏せ越し部へ誤って転落し、作業員1名が骨折するという事故が発生しました。

2. 工事事故

令和7年9月は9件（死亡：1件、負傷：6件、物損：2件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べ事故総件数は6件減少しました。

既に全国の下水道管理者の皆様には注意喚起をさせていただきましたが、下記のとおり死亡事故が発生しています。

下水道汚水本管の施工中、誘導作業の休憩中に路側の擁壁上（高さ0.6m程度）に腰掛けていた状態から立ち上がりろうとして、後方崖に転落、通報を受けた救急隊により救助・緊急搬送されたが、死亡するという事故が発生しました。

3. 水質事故等

令和7年9月は3件（水質事故：3件、その他案件：0件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べ事故総件数は2件増加しました。

水質事故の事例として、散気装置の故障による処理不足により下水処理場から放流水中のBODおよびふつ素値が基準値を超過する事故が発生しました。

4. 発生事故を踏まえた今後の対応について

令和7年8月4日付で発出した「下水道管路等内作業における安全確保の徹底について（その1）、（その2）」（令和7年8月4日付事務連絡）も踏まえ、引き続

き下水道管路内作業においては、作業者の安全性を最優先し、換気や転落防止などの安全対策を十分に実施することを改めて徹底し事故の未然防止に努め、施設の運転管理や保全管理を適切に実施していただきますようお願いいたします。

※ 下水道の維持管理に関する事故、工事現場で事故が発生した場合には、原則各地方整備局等の担当まで報告をお願いします。また、重大な事故の場合は、本省及び各地方整備局の担当まで同時に報告をお願いします。

※ 下記のHPにて掲載している、下水道セーフティネット、事故データベース、通知等を活用していただき、事故の未然防止に努めていただきますようお願いします。

HP : https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

※ 厚生労働省の下記のHPに労働災害事例が掲載されていますので、事故の未然防止に活用いただきますようお願いします。

HP : https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx

（担当・問い合わせ先）

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課管理企画指導室（維持管理事故（水質事故等含む）担当）

平野 : hirano-h2ia@mlit.go.jp

周藤 : sutou-h8310@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8428（直通） FAX: 03-5253-1596

下水道事業課事業マネジメント推進室（工事事故担当）

今井 : imai-r86s3@mlit.go.jp

白江 : shirae-s2fp@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8431（直通） FAX: 03-5253-1597

令和 7 年度
下水道に関する事故発生状況について
(令和 7 年 9 月末時点)

1. 人身事故（総括）
2. 維持管理作業事故
3. 工事事故
4. 水質事故等

国土交通省 水管理・国土保全局
上下水道企画課
下水道事業課

1. 人身事故(総括)

(令和7年9月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	9月までの集計	年度合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)							1 (0)	1 (0)
	2. 負傷事故	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	3 (1)	3 (1)							15 (21)	15 (37)
	合計	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	4 (1)	3 (1)							16 (21)	16 (37)
	累計	1 (5)	2 (7)	2 (11)	9 (19)	13 (20)	16 (21)							—	—
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (3)							5 (3)	5 (8)
	2. 負傷事故	0 (5)	3 (4)	4 (6)	7 (5)	5 (3)	6 (6)							25 (29)	25 (60)
	合計	0 (5)	3 (4)	5 (6)	8 (5)	7 (3)	7 (9)							30 (32)	30 (68)
	累計	0 (5)	3 (9)	8 (15)	16 (20)	23 (23)	30 (32)							—	—
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (3)							6 (3)	6 (8)
	2. 負傷事故	1 (10)	4 (6)	4 (10)	14 (13)	8 (4)	9 (7)							40 (50)	40 (97)
	合計	1 (10)	4 (6)	5 (10)	15 (13)	11 (4)	10 (10)							46 (53)	46 (105)
	累計	1 (10)	5 (16)	10 (26)	25 (39)	36 (43)	46 (53)							—	—

※下段()書きは前年度(令和6年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故 (令和7年9月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 主体	1. 都道府県	0 (2)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	1 (0)	2 (0)							4 (6)
	2. 政令市	0 (0)	0 (1)	0 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (1)							2 (5)
	3. 一般市	1 (3)	1 (0)	0 (2)	4 (3)	3 (0)	1 (0)							10 (8)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)							0 (2)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	合計	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	4 (1)	3 (1)							16 (21)
発生 施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)							3 (0)
	2. マンホール	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)							2 (1)
	3. 処理場	1 (4)	1 (2)	0 (4)	1 (6)	3 (1)	2 (0)							8 (17)
	4. ポンプ場	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (1)							3 (2)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)							0 (1)
	合計	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	4 (1)	3 (1)							16 (21)
事故 類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)							1 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)							1 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	負傷事故	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	3 (1)	3 (1)							15 (21)
	1. 墜落・転落	0 (2)	1 (2)	0 (1)	2 (2)	1 (0)	1 (0)							5 (7)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	0 (1)	1 (0)							2 (4)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (1)
	4. 切れ・こすれ	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)							2 (2)
	5. 転倒	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)							2 (4)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (1)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)							0 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	14. その他	1 (0)	0 (0)	0 (1)	3 (0)	0 (0)	0 (0)							4 (1)
	合計	1 (5)	1 (2)	0 (4)	7 (8)	4 (1)	3 (1)							16 (21)
被災 者数	1. 自治体職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)							0 (1)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	②負傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)							0 (1)
	2. 委託先業者	2 (4)	1 (2)	0 (4)	7 (7)	6 (1)	3 (3)							19 (21)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)							4 (0)
	②負傷	2 (4)	1 (2)	0 (4)	7 (7)	2 (1)	3 (3)							15 (21)
	3. 第三者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)							2 (1)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	②負傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)							2 (1)
	合計	2 (4)	1 (2)	0 (4)	9 (8)	6 (1)	3 (4)							21 (23)
	累計	2 (4)	3 (6)	3 ###	12 (18)	18 (19)	21 (23)							— —

※()書きは、前年度(令和6年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和7年9月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策			被災者		
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況
9月										
1	R7.9.11	一般市	処理場	②はまれ・巻き込まれ	排気ファンの定期点検中、稼働中のベルトに左手が巻き込まれ骨折。	・作業前および点検時の注意喚起に回転物点検に関する対策に回転停止を追加 ・安全確認後に作業開始を指示する表示を機器に掲示	委託先業者	65	男	左手親指第一関節開放骨折及び手のひらの裂傷
2	R7.9.18	都道府県	処理場	⑤転倒	早朝に採水作業中、濡れた床上で、転倒し腰部骨折。	・滑り止め等検討する	委託先業者	52	男	腰部骨折（全治1か月）
3	R7.9.30	都道府県	管渠	①墜落・転落	全国特別重点調査対象区間の内、放流渠の調査をしていたところ、高低差約4mの伏せ越し部へ誤って転落し、作業員1名が骨折。	・危険箇所周辺の物理的な防護柵設置による安全対策の徹底について業者を指導する	委託先業者	51	男	肋骨、背骨椎弓それぞれ4本骨折

:死亡事故

:負傷事故

3.工事事故 (令和7年9月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (1)	1 (1)	1 (0)	3 (4)	4 (1)	4 (2)							15 (9)
	2. 政令市	0 (1)	3 (0)	2 (2)	2 (3)	3 (2)	0 (7)							10 (15)
	3. 一般市	0 (2)	1 (3)	2 (6)	6 (2)	3 (4)	5 (6)							17 (23)
	4. 町村	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							1 (1)
	5. その他	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)							2 (1)
	合計	2 (6)	6 (4)	6 (8)	11 (9)	11 (7)	9 (15)							45 (49)
工事分類	1. 管きよ開削	2 (3)	4 (2)	2 (2)	6 (5)	4 (4)	6 (9)							24 (25)
	2. 管きよ推進	0 (0)	0 (1)	1 (2)	2 (0)	1 (0)	0 (0)							4 (3)
	3. 管きよシールド	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (1)							1 (2)
	4. 管きよその他	0 (1)	1 (0)	1 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (2)							2 (8)
	5. 処ボ土木建築	0 (1)	1 (1)	2 (0)	1 (2)	4 (0)	1 (1)							9 (5)
	6. 処ボ機械電気	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	2 (2)							4 (5)
	7. 処ボその他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)							1 (1)
	合計	2 (6)	6 (4)	6 (8)	11 (9)	11 (7)	9 (15)							45 (49)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (3)							5 (3)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)							3 (0)
	2. はまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)							0 (1)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)							0 (1)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)							1 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)							1 (1)
事故類型	負傷事故	0 (5)	3 (4)	4 (6)	7 (5)	5 (3)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (29)
	1. 墜落・転落	0 (3)	1 (1)	0 (2)	1 (1)	3 (1)	2 (4)							7 (12)
	2. はまれ・巻き込まれ	0 (2)	1 (2)	0 (3)	2 (0)	0 (2)	1 (1)							4 (10)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (1)	1 (0)	4 (1)	1 (0)	0 (0)							6 (2)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)							2 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (0)							2 (2)
	6. 激突	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							1 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)							0 (1)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							1 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)							0 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)							2 (1)
被災者数	物損事故	2 (1)	3 (0)	1 (2)	3 (4)	4 (4)	2 (6)							15 (17)
	12-2. 公衆災害(物損)	2 (1)	3 (0)	1 (2)	3 (4)	4 (4)	2 (6)							15 (17)
	合計	2 (6)	6 (4)	6 (8)	11 (9)	11 (7)	9 (15)							45 (49)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1. 死亡	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (4)							5 (4)
	2. 負傷	0 (5)	3 (4)	6 (6)	8 (5)	5 (3)	6 (6)							28 (29)
	合計	0 (5)	3 (4)	7 (6)	9 (5)	7 (3)	7 (10)							33 (33)
	累計	0 (5)	3 (9)	10 (15)	19 (20)	26 (23)	33 (33)							- - -

※()書きは、前年度(令和6年度)の値

※国土交通省へ報告のあつた事故について集計

工事事故情報データベース

令和7年9月末時点

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報				被害者状況		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要		発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
9月											
1	R7.9.1	1.都道府県	1.管きょ開削	掘削工	他企業埋設物について路上マーキングを実施した上で、区道車道（AS40型）にて掘削作業を進めていた。堀山に硬い地山があつたため、バックホウで掘削したところ、地山内に埋設されていたガス供給管Φ30に接触し損傷させてしまった。	現場内	12-2.公衆災害（物損）				
2	R7.9.1	1.都道府県	1.管きょ開削	舗装切断作業補助	舗装切断後、次の切断箇所に移動する際にエンジンを停止し、回転が止まつていい状態でカッターの刃をあげて移動を開始した直後に、切断作業の補助をしていた被災者が進行方向に割り込む形で接触し脛脛（ふくらはぎ）を損傷。	現場内	4.切れ・こすれ	58	男	左脛脛裂傷	
3	R7.9.2	1.都道府県	1.管きょ開削	掘削工	汚水取付管補修を行うため、バックホウにて掘削を行っていた際、ガス供給管（PE φ25mm）を損傷させた。 ガス供給管の位置はマーキングされており、手掘りにて掘削をしていたが、マーキング位置に埋設物が見当たらなかつた。そのため、埋設物はないものと思い機械掘削を進めた結果、マーキング位置から70cm程離れた位置にガス供給管があり損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）				
4	R7.9.3	3.一般市	1.管きょ開削	鉄管の切断作業	事故当日の作業は昼間作業で放流渠構築の支障となる工業用水Φ300の移設工事を行っていた。 切管作業（仮設配管：塩化ビニル管Φ300）を行っていたところエンジンカッターの刃が破断し、作業員の右足に刺さる事故が発生した。	現場内	4.切れ・こすれ	46	男	右足挫創	
5	R7.9.8	3.一般市	1.管きょ開削	覆工板撤去作業	汚水入孔No.37-1-1付近で覆工板撤去作業後、舗装復旧を施工中、掘り穴の中から舗装上に手を置いていた被災者の左手を0.25m3バックホウのキャタピラがバックする際に巻き込んでしまい被災した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	20	男	左手・薬指の裂傷	
6	R7.9.12	3.一般市	6.処理機械電気	片付け作業	当日の作業が終了し最初沈殿池地上部で片付け作業中に工事対象池の開口部に設置した防護手摺の単管パイプに空調服が引っ掛かりバランスを崩した後、隣池の経年劣化した開口蓋を踏み抜き隣接する水槽内に落下した。 水槽内は工事対象池への汚水の逆流を防ぐため、空池、清掃をした箇所であった。 落下の際に越流堰に左腕がぶつかり挫創（縫合13針）、その後池下部まで落下した。 地上から落下位置までの高低差7.2m。	現場内	1.墜落・転落	26	男	左前腕挫創 左第三腰椎突起骨折 左12肋骨骨折	
7	R7.9.18	1.都道府県	5.処理土木建築	配筋作業	地中梁の配筋作業中に、鉄筋曲棒を使用し上端筋（高さ700mm程度）に片足を乗せてD22の上端筋を曲げて、スターラップを軸体側に戻そうとした際に、鉄筋曲棒がはずれ後方に転倒。転倒時に左腕を地面につき負傷してしまつた。	現場内	5.転倒	43	男	左肘関節内側側副韌帯断裂	
8	R7.9.29	3.一般市	6.処理機械電気	機械工	No.1会所のバイパスゲート付近のタラップを上り切り、スラブ上でセーフティブロックを外したあと、足元が滑りビット内へ転落しかかとから着地した。	現場内	1.墜落・転落	51	男	左踵骨開放骨折 右踵骨骨折	
9	R7.9.30	3.一般市	1.管きょ開削	交通誘導	作業休憩時に路側の擁壁上（高さ60cm程度）に腰掛けていて立ち上がりようとして、後方崖に転落した。	現場外	1.墜落・転落	72	男	死亡	



:死亡事故



:負傷事故



:物損事故

4.水質事故等 (令和7年9月末時点)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)	3 (1)							21 (19)
	累計	2 (2)	3 (5)	4 (7)	13 (8)	18 (18)	21 (19)							-

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)							2 (2)
	2. 政令市	0 (2)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (0)							4 (5)
	3. 一般市	1 (0)	1 (1)	0 (1)	7 (0)	4 (7)	1 (0)							14 (9)
	4. 町村	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	1 (0)							1 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	合計	2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)	3 (1)							21 (19)
発生施設	1. 管渠	0 (2)	0 (2)	1 (0)	2 (0)	3 (3)	1 (0)							7 (7)
	2. マンホール	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (2)	0 (0)							4 (3)
	3. 処理場	1 (0)	1 (0)	0 (2)	3 (0)	0 (3)	2 (1)							7 (6)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)							3 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)							0 (3)
	合計	2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)	3 (1)							21 (19)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (1)	0 (2)	0 (1)	6 (1)	4 (4)	2 (1)							13 (10)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)							3 (0)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	2 (0)	1 (6)	1 (0)							5 (9)
	合計	2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)	3 (1)							21 (19)
	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)							3 (0)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
事故類型	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (2)	1 (0)							3 (3)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)							3 (1)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (2)	0 (1)	0 (0)	5 (1)	4 (5)	1 (1)							11 (10)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	水質事故 合計	2 (2)	1 (2)	1 (1)	9 (1)	4 (7)	3 (1)							20 (14)
	その他案件	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	0 (0)							1 (5)
状況分類	水質事故等 合計	2 (2)	1 (3)	1 (2)	9 (1)	5 (10)	3 (1)							21 (19)
	① 耐用年数経過	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)							3 (0)
	② 耐用年数以内	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (2)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	合計	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)							3 (2)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()書きは、前年度(令和6年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和7年9月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・対応		
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	事故への対応	
9月							
1	R7.9.5	2.政令市	処理場	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	汚泥焼却時に発生する設備冷却水及び排ガス処理水が河川へ流出。	・再発防止策を検討中
2	R7.9.5	3.一般市	管渠	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出	雨水管から油が流出。	・原因者特定が困難であることから、今後、広報報や公式ホームページを用いて市民、事業者への注意喚起を行う
3	R7.9.22	4.町村	処理場	水質事故	③悪質下水の流入による放流水質の基準不適合	散気装置の故障による処理不足により下水処理場から放流水中のBODおよびふつ素値が基準値を超過。	・再発防止策を検討中